
F D活動報告書

(2018 年度)

鹿児島女子短期大学



— 目 次 —

1. 学生による授業評価 … 1
2. 授業公開 … 9
3. F D研修会 … 14

1 学生による授業評価

<授業評価アンケート実施内容>

(単位:名)

年度	学期	専任教員数	実施教員数(専任)	非常勤教員数	実施教員数(非常勤)	授業改善書提出教員数(専任)	授業改善書提出教員数(非常勤)
平成30年度	前期	43	43 (100%)	45	15 (33.3%)	43 (100%)	11 (73.3%)
	後期	43	43 (100%)	51	29 (56.9%)	39 (90.7%)	14 (48.3%)

(後期4名:2019年3月退職)

◆授業評価依頼文書① (例示:平成30年度後期:授業アンケート依頼)

「授業についてのアンケート調査」実施要領 (平成30年度後期)

IR委員会

今回のアンケートが、紙媒体で行う最後のアンケートになる予定です。今回は、達成度の自己評価アンケートも兼ねますので、お手数ですが、全科目での実施をお願いします。例年は自由設定としている20番目のアンケート項目に代えて、科目の到達目標について達成度を尋ねています:「(20)この授業の主要な到達目標について、自分の達成度を1~5の5段階で評価してください」。主要な到達目標については、回収用封筒に該当科目を含むカリキュラムマップを入れておきますので、DP欄に◎のついている到達目標を板書して(難しい場合は口頭で)伝えてください。

1. アンケート実施期間

下記の期間に「授業についてのアンケート調査」を実施してください。今回、実施調査票はありません。1月8日から毎日、当日の時間割にある授業すべてについて、アンケート用紙の入った封筒が事務室に準備してありますので、各自お取りください。

平成31年1月8日(火) 新年授業開始日
～2月1日(金) 後期期末試験最終日

ただし、この期間後でも実施できる場合は、**2月末までの実施**をお願いします。

2. アンケート実施対象科目

アンケート科目は、原則として**全科目(全授業)**です。実技・演習科目も対象科目としてください。(授業がすでに終了しており、受講学生が集合する機会を設けられない場合は、実施不要です。)

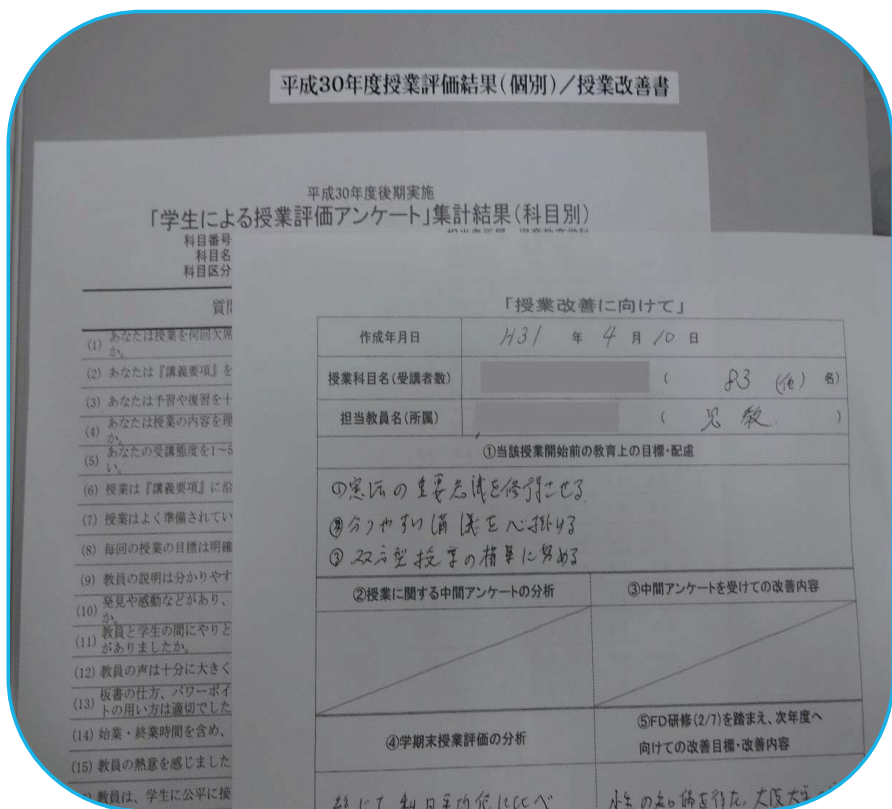
アンケートの回答時間が十分に取れない場合は、**項目20のみ回答させて回収していただくことも可とします**。ただし、最低1科目(全授業)については、全項目の回答を指示してください。

3. アンケート実施手順

- ①授業前に、アンケート用紙(「授業についてのアンケート調査」)の入った封筒を事務室で受け取ってください。(封筒に科目コードが書かれています。)
- ②アンケート用紙を学生に配付後、黒板に科目コードと、項目20で達成度を回答するための、科目の主要な到達目標を書いてください。
- ③全項目回答の場合は、15分程度の時間を回答に充ててください。
- ④学生の代表に、アンケート用紙の回収にあたらせてください。重ねる順番は自由ですが、用紙の向きが合っていることを確認させてください。
- ⑤学生の代表に、所定の封筒に回収したアンケート用紙を入れさせてください。
- ⑥授業後、その封筒と余りのアンケート用紙を、出勤簿付近の所定の箱に入れてください。

4. 授業改善報告書

集計結果がまとまり次第、先生方へデータをお渡しします。それに基づいて、全項目回答を得た**任意の1科目**について、「授業改善に向けて」(授業改善報告書)を、2月7日の春季PD研修会受講後、同研修の内容を踏まえてご提出いただきますので、よろしくお願いいたします。



教員各位

平成 31 年 3 月

FD 委員長 池 田

早春の息吹が感じられるようになってまいりました。
後期試験も終わり、先生方には年度末へ向けてご多忙の毎日が続いていることと拝察します。

さて、1月に実施した授業アンケートの個人別結果の仕分けが終わりましたので返戻いたします。これまでと同様、授業改善に向けた報告書用紙も同封してあります。改善報告書は2月7日（木）13：30から開催された、FD研修会でのワークショップを踏まえご提出いただきますようお願いいたします。

提出期限は4月10日（厳守）とさせていただきます（提出先：返戻用の提出ボックスを留意します）。

同封資料

- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果（実施全科目分）
- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果（科目または授業別）
- ・「学生による授業評価アンケート」自由記述欄（切り抜き）
- ・「授業改善に向けて」様式（サイボウズよりダウンロードできます）

以 上

※「授業改善に向けて」は資料封入の封筒へ入れてご提出ください

授業についてのアンケート調査

鹿児島女子短期大学
このアンケートは、授業をよりすすめるためのものです。質問事項に正直に記入してください。回答は匿名扱いにはなりません。記入内容が厳密に保護することもありません。

(a)実施日と科目名を記入してください

実施日	月	日
科目名		

(b)学年をマークしてください

<input type="radio"/> 1年生
<input type="radio"/> 2年生
<input type="radio"/> 上記以外

(c)科目番号を記入し、マークしてください

科目番号
① ② ③ ④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧
⑨ ⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮ ⑯
⑰ ⑱ ⑲ ⑳
㉑ ㉒ ㉓ ㉔
㉕ ㉖ ㉗ ㉘
㉙ ㉚ ㉛ ㉜
㉝ ㉞ ㉟ ㊱
㊲ ㊳ ㊴ ㊵

(d)出席番号をマークしてください

(1番～9番までの方は十の位を任意にマーク)

① ②
③ ④
⑤ ⑥
⑦ ⑧
⑨ ⑩
⑪ ⑫
⑬ ⑭
⑮ ⑯
⑰ ⑱
⑲ ⑳
㉑ ㉒
㉓ ㉔
㉕ ㉖
㉗ ㉘
㉙ ㉚
㉛ ㉜
㉝ ㉞
㉟ ㊱
㊲ ㊳
㊴ ㊵
㊶ ㊷
㊸ ㊹
㊺ ㊻
㊼ ㊽
㊾ ㊿

(e)組をマークしてください

<input type="radio"/> 1組
<input type="radio"/> 2組
<input type="radio"/> 3組
<input type="radio"/> 4組
<input type="radio"/> 5組
<input type="radio"/> 6組
<input type="radio"/> その他

(f)学科をマークしてください

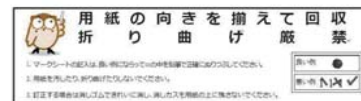
<input type="radio"/> 児童教育学科
<input type="radio"/> 生活科学科
<input type="radio"/> 教育学科
<input type="radio"/> 上記以外

A 次の質問について①～⑤までの5段階で最も近いと思われる数字を選び、マークしてください

(1) あなたは授業を前記A問（B）次も読む) しましたか。	大層いい	いい	普通	悪い	大層悪い
	②	①	③	④	⑤
(2) あなたは「講義録」をよく読みましたか。	①	②	③	④	⑤
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。	①	②	③	④	⑤
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。	①	②	③	④	⑤
(5) あなたの受講態度を1～5の段階で評価してください。	①	②	③	④	⑤

B 以下の質問について自由に答えてください

21) この授業でよかったと思う点を書いてください 必ず右に記入したら、必ず右にマークしてください。正しくマークされていない場合、記入は無効となります	①	22) この授業でよくなかったと思う点、改善すべきだと思う点を書いてください 必ず右に記入したら、必ず右にマークしてください。正しくマークされていない場合、記入は無効となります	①	23) この授業について、教室、施設、設備も含め、不満・要望・その他があれば書いてください 必ず右に記入したら、必ず右にマークしてください。正しくマークされていない場合、記入は無効となります	①



(6) 授業は「講義録」に記して行われましたか。	①	②	③	④	⑤
(7) 授業はよく準備されていたか。	①	②	③	④	⑤
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	①	②	③	④	⑤
(9) 教材の説明はわかりやすかったですか。	①	②	③	④	⑤
(10) 発問や発問などがあり、興味を持って授業でしたか。	①	②	③	④	⑤
(11) 質問と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	①	②	③	④	⑤
(12) 授業の進め方は十分で、理解が深まりましたか。	①	②	③	④	⑤
(13) 授業の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。	①	②	③	④	⑤
(14) 講義・授業時間外も含め、授業配分は適切でしたか。	①	②	③	④	⑤
(15) 授業の準備は進みましたか。	①	②	③	④	⑤
(16) 授業は、学生には早に解していただきましたか。	①	②	③	④	⑤
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は授業の助けになりましたか。	①	②	③	④	⑤
(18) この授業によって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	①	②	③	④	⑤
(19) この授業を他の科目に1～5の段階で評価してください。	①	②	③	④	⑤
(20) この授業の主要な講義目標について、自分の満足度を1～5の段階で評価してください。	①	②	③	④	⑤

◆「授業改善に向けて」用紙（例示：平成30年度後期）

「授業改善に向けて」	
作成年月日	年 月 日
授業科目名(受講者数)	(名)
担当教員名(所属)	()
①当該授業開始前の教育上の目標・配慮	
②授業に関する中間アンケートの分析	③中間アンケートを受けての改善内容
④学期末授業評価の分析	⑤FD研修(2/7)を踏まえ、次年度へ向けての改善目標・改善内容

※複数開講科目の場合、受講者数は授業ごとに個別に人数を記してください(例:「95+110名」)。
 ※②と④の分析は、学生による授業評価を総合的に振り返ってください。学生からの質問の代表的なものに対して、具体的にお答えいただいても結構です。

◆授業評価依頼文書③（例示：平成30年度後期：アンケート結果配付・授業改善書提出依頼：非常勤講師）

平成31年3月

非常勤講師 各位

FD委員長 池田

早春の息吹が感じられるようになってまいりました。後期試験も終わり、先生方には年度末へ向けてご多忙の毎日が続いていることと拝察します。

さて、1月に実施した授業アンケートの個人別結果の仕分けが終わりましたので返戻いたします。これまでと同様、授業改善に向けた報告書用紙も同封してあります。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、資料結果に基づき、同封いたしました「授業改善に向けて」にご記入のうえ、提出いただきますようお願い申し上げます。

提出期限は4月26日（必着）とさせていただきます。同封の返信用封筒にてご返送ください。

同封資料

- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果（実施全科目分）
- ・「学生による授業評価アンケート」集計結果（科目または授業別）
- ・「授業改善に向けて」様式
- ・返信用封筒

以上

※「授業改善に向けて」は同封の返信用封筒へ入れてご提出ください

◆集計結果（平成30年度前期：全体）

平成30年度 前期実施 「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)										
質問項目	各選択肢の回答率 (%)					度数	平均値	標準偏差		
	0	1	2	3	4				5	
(1) あなたは授業を何回欠席（公欠も含む）しましたか。	60.3	21.7	10.1	5.3	2.6	4262	0.7	1.0		
(2) あなたは『講義要項』をよく読みましたか。	4.3	26.0	42.6	17.8	9.4	4262	3.0	1.0		
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。	4.6	21.5	40.9	21.3	11.7	4264	3.1	1.0		
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。	1.1	6.7	31.2	40.8	20.2	4265	3.7	0.9		
(5) あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。	0.2	2.5	28.2	46.1	23.0	4262	3.9	0.8		
(6) 授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。	0.5	2.3	26.0	34.2	36.9	4280	4.0	0.9		
(7) 授業はよく準備されていましたか。	0.3	1.6	11.8	29.6	56.8	4284	4.4	0.8		
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	0.5	2.5	15.9	31.3	49.9	4282	4.3	0.8		
(9) 教員の説明は分かりやすかったですか。	0.9	4.5	16.2	30.9	47.5	4281	4.2	0.9		
(10) 発見や感動などがあり、興味を持てる授業でしたか。	0.8	3.9	18.6	34.2	42.5	4284	4.1	0.9		
(11) 教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	0.7	4.0	21.5	31.7	42.1	4283	4.1	0.9		
(12) 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。	0.3	2.1	11.6	26.4	59.6	4281	4.4	0.8		
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの使い方は適切でしたか。	0.7	2.9	15.3	30.9	50.2	4275	4.3	0.9		
(14) 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。	0.5	1.7	12.7	28.7	56.5	4278	4.4	0.8		
(15) 教員の熱意を感じましたか。	0.4	1.2	12.5	28.6	57.2	4282	4.4	0.8		
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。	0.3	1.2	12.1	25.6	60.8	4277	4.5	0.8		
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。	0.5	1.7	13.6	31.0	53.2	4277	4.3	0.8		
(18) この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	0.2	1.5	12.5	29.9	55.9	4280	4.4	0.8		
(19) この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。	0.4	1.4	13.9	36.7	47.6	4275	4.3	0.8		

※ 下線は各質問項目において最も回答数が多かった選択肢です。
 ※ 「度数」とは、各質問項目の有効回答者数です。
 ※ 「標準偏差」とは、データ群の平均値とそれぞれのデータの乖離具合、ばらつき具合を示したものです。

◆集計結果（平成30年度後期：全体）

平成30年度 後期実施 「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)										
質問項目	各選択肢の回答率 (%)					度数	平均値	標準偏差		
	0	1	2	3	4				5	
(1) あなたは授業を何回欠席（公欠も含む）しましたか。	49.9	23.1	15.2	8.6	3.1	7474	0.9	1.1		
(2) あなたは『講義要項』をよく読みましたか。	6.9	24.2	42.7	18.9	7.3	7484	3.0	1.0		
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。	5.6	18.6	45.3	22.2	8.3	7478	3.1	1.0		
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。	1.1	6.1	32.9	42.1	17.8	7479	3.7	0.9		
(5) あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。	0.3	2.3	31.6	46.3	19.4	7478	3.8	0.8		
(6) 授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。	0.5	2.6	26.2	36.3	34.4	7436	4.0	0.9		
(7) 授業はよく準備されていましたか。	0.4	2.0	14.5	32.3	50.8	7438	4.3	0.8		
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	0.6	2.7	16.3	33.7	46.8	7433	4.2	0.9		
(9) 教員の説明は分かりやすかったですか。	1.4	3.9	17.1	33.2	44.4	7432	4.2	0.9		
(10) 発見や感動などがあり、興味を持てる授業でしたか。	1.1	3.8	18.7	36.9	39.5	7430	4.1	0.9		
(11) 教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	1.1	4.4	22.4	35.7	36.5	7427	4.0	0.9		
(12) 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。	0.4	1.7	12.3	31.3	54.2	7423	4.4	0.8		
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの使い方は適切でしたか。	0.8	3.2	16.9	33.2	45.9	7424	4.2	0.9		
(14) 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。	0.8	2.4	14.3	31.9	50.7	7424	4.3	0.9		
(15) 教員の熱意を感じましたか。	0.4	1.4	14.3	32.1	51.8	7422	4.3	0.8		
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。	0.3	1.4	13.5	29.7	55.0	7419	4.4	0.8		
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。	0.7	2.2	15.4	33.4	48.3	7419	4.3	0.8		
(18) この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	0.5	1.5	14.5	32.2	51.4	7415	4.3	0.8		
(19) この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。	0.4	1.7	15.2	40.6	42.1	7418	4.2	0.8		
(20) この授業の主要な到達目標について、自分の達成度を1～5の5段階で評価してください。	0.3	1.9	23.1	51.1	23.6	7444	4.0	0.8		

※ 下線は各質問項目において最も回答数が多かった選択肢です。
 ※ 「度数」とは、各質問項目の有効回答者数です。
 ※ 「標準偏差」とは、データ群の平均値とそれぞれのデータの乖離具合、ばらつき具合を示したものです。

2 授業公開

< 授業公開週間実施内容 >

(単位：名)

年度	実施期間	参 観 科目数	専 任 教員数	授業参観記録 提出教員数	備考 (教員内訳)
平成 30 年度	平成 30 年 11 月 5 日 (月) ~ 30 日 (金)	20	43	20	児童教育：7/20 名 生活：10/14 名 教養：3/9 名

◆授業公開週間について① (平成 30 年度)

教員 各位

平成 30 年 11 月 1 日

FD 委員長 池 田

お知らせとお願い

歳末というにはまだ早いものの、何かと気忙しい時候となっております。

さて、下記の予定で授業公開週間が始まります。授業力向上のため、自らの授業にたいする他者評価は重要な資料ともなりますので、公開へのご理解、ご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。つきましては、教員メールボックス脇に用意した「後期時間割」に、実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ (×) 印をつけていただきますようお願いいたします (一般教養科目等の同時開講科目は、お名前の部分に印をお願いします)。

なお授業参観の際は、実習その他による休講等があるため、事前に授業担当者へ参観希望である旨をお伝え下されれば幸いです。また参観は、授業開始時から終了時までとしますが、場合によっては中途参観・退出でも構いません。

参観後は、添付の参観感想用紙を 12 月 7 日までに指定の提出ボックス (メールボックス上に 11 月 5 日より設置) へお入れください。

記

平成 30 年度後期授業公開週間 **11 月 5 日 (月) ~ 11 月 30 日 (金)**

概 要：①上記の期間中に授業の参観ができます。90 分間に複数の授業を参観していただいても構いません。

②期間中は、「授業公開週間時間割」に条件が明示されていない限り、授業担当者の許可なく入室できます。

参 観 後：①参観者は、「授業参観記録」に感想等を記入し、提出ボックスへ提出して下さい。
②記録用紙は 1 授業につき 1 枚の記入となります。
③記録用紙を回収した後、科目毎にまとめ、授業担当者へお渡しします。
(ただし、コピーを 1 部、FD 委員会で保管します。)

以上

◆授業公開週間について② (平成 30 年度：非常勤講師)

平成 30 年 11 月 1 日

非常勤講師 各位

FD 委員長 池 田

お知らせとお願い

歳末というにはまだ早いものの、何かと気忙しい時候となっております。

さて、下記の予定で授業公開週間が始まります。授業力向上のため、自らの授業にたいする他者評価は重要な資料ともなりますので、公開へのご理解、ご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。つきましては、教務課窓口「後期時間割」を用意いたしました。出勤簿押印時に確認し、実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ (×) 印をつけていただきますようお願いいたします (一般教養科目等の同時開講科目は、お名前の部分に印をお願いします)。

なお授業参観の際は、事前の講義実施予定の確認をお勧めします。(実習その他による休講等があるため)。また参観は、授業開始時から終了時までとしますが、場合によっては中途参観・退出でも構いません。

参観後は、添付の参観感想用紙を 12 月 7 日までに教務課へお渡しください。

記

平成 30 年度後期授業公開週間 **11 月 5 日 (月) ~ 11 月 30 日 (金)**

概 要：①上記の期間中に授業の参観ができます。90 分間に複数の授業を参観していただいても構いません。

②期間中は、「授業公開週間時間割」(時間割は教務課でご確認下さい。)に条件が明示されていない限り、授業担当者の許可なく入室できます。

参 観 後：①参観者は、「授業参観記録」に感想等を記入し、教務課へ提出して下さい。

②記録用紙は 1 授業につき 1 枚の記入となります。

③教務課で記録用紙を回収した後、科目毎にまとめ、授業担当者へお渡しします。
(ただし、コピーを 1 部、FD 委員会で保管します。)

以上

◆授業公開について（時間割確認のお知らせ）（平成30年度）

授業公開週間時間割

授業公開週間(11/5～11/30)の時間割を準備いたしました。

※ 10/26 までに、わかっている休講・補講・教室変更については記載していません。

各学科の時間割について、実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ(X)印をつけていただきますようお願いいたします(一般教養科目等の同時開講科目は、お名前部分に印をお願いします。)

*** 非常勤講師の皆様も、授業公開にご協力いただいております。
できるだけ、参観にもご協力いただきますようお願いいたします。***

10月29日 FD委員会

◆授業公開について（公開週間お知らせ：学生用）（平成30年度）

2018.10.29

授業公開週間のお知らせ

FD委員会

本学における授業改善の一環として、「授業公開週間」を実施します。これは、教員間で授業を参観し合うことにより、各教員が自分の授業を見直して質の向上を図ることを目的としています。期間中は、学生の皆さんが受けている授業を、本学教職員または非常勤講師の先生方が参観されることがありますので、その際は理解と協力をお願いします。

実施期間：11月5日(月)～11月30日(金)

以上

◆授業公開時間割例示（平成30年度）

鹿児島女
平成30年

平成30年度【後期】時間割 [生活科学科]

曜	年	1 年				2 年				
		生活福祉専攻		食生活専攻		生活科学専攻	生活福祉専攻		食生活専攻	
組	専攻	1組・8名	2組・7名	3組・34名	4組・34名	1組・15名	2組・7名	3組・7名	4組・42名	5組・38名
11月5日	1	障害の理解Ⅰ (福留) 406		食品学各論 内匠 402		調理実習 山崎・(宮内) 南201		喀痰吸引演習 浜崎(慶木) 南301		社会福祉概論 谷川 南304
	2									
	3	レクリエーション活動援助法Ⅱ (福留) 体育館		解剖生理学Ⅱ 竹中 南304		労働基準法 (榎井) 403		こころからのしくみⅡ(精神) 宮里 306		フードスペシャリスト論 村山 309
	4									
	5	英語演習Ⅱ (A:生田 南304) (B:吉村 608) (C:高島 405)				労働基準法 (榎井) 403				前半) 運動生理学 大村 406
	6	中国語演習Ⅱ 黒川 407		韓国語演習Ⅱ (李) 404						
	7	人間の発達と自立 谷川 西203		栄養学総論 住澤 402		労働安全衛生法 (榎井) 403		体育実技 大村 体育館 (合同2-1・2)		食品評価・鑑別実験
	8									
	9	解剖生理学 竹中 404						事例研究(ゼミナール) 谷川・加藤・浜崎・宮里・福永 西204 308 西107		内匠・(下野) 619・617
	10									
11月6日	1	情報処理 渡邊 南501		食品衛生学 実験 村山・(下野) 519・617	応用栄養学 実習 寺師・(木戸) 南202・南304	公衆衛生学 (安藤) 407	加賀障害者の生活支援 (下田代) 西204		参観実践演習(栄養教諭) 千葉・山崎 404	
	2									
	3	認知症の理解 (植原) 西203				家族関係論 倉重 406	介護の基本Ⅳ 加藤 西204		後半) 消費経済論 (田代) 404	
	4	介護の基本Ⅲ 加藤 西203		給食管理 千葉 東201		特別活動の研究 山元 404 (合同52食)	加賀障害者の生活支援 (下田代) 西204		前半) 特別活動の研究 山元 404 (合同52-1)	
	5									
	6	こころからのしくみⅠ(医学一般) (阿野・林) 西203		教育心理学 宮里 307			介護福祉Ⅳ 加藤・福永 403		栄養指導 実習Ⅱ	
	7									
	8	日本語演習Ⅱ 岩切 403		公衆衛生学Ⅰ(全8回) 内匠 402			加賀障害者の生活支援 (下田代) 西204		収元 (純浦) 616・MM	
	9									
	10									

◆授業公開参観記録様式（平成30年度）

平成30年度 授業参観記録

科目名	担当者	先生
参観日時	月 日 ()	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 限目
記入者	児童教育学科 非常勤講師	生活科学科 事務職員
	教養学科 その他 ()	
氏名		
授業についての感想		

※12月7日(金)までに提出ボックスにご提出ください。

◆授業公開実施報告（平成30年度）

平成30年度 授業公開週間について（報告）

FD委員会

○実施期間：平成30年11月5日（月）～11月30日（金）

○報告書提出者数

学 科	人 数
児童教育学科	7
生活科学科	10
教養学科	3
非 常 勤	0
合 計	20

○参加科目一覧

保育者論	相談援助	教職実践演習	(児) WELOVE 鹿児島
保育内容（人間関係）	保育内容（表現Ⅰ）	保育指導法の研究	(生) WELOVE 鹿児島（2名）
家族支援論	日本語表現の基礎	解剖生理学Ⅱ	児童家庭福祉（2名）
給食管理実習Ⅳ	臨床栄養学総論	国際化と経済	食品評価・鑑別実験
給食管理	現代社会学	ビジネスワーク	家族関係論

- ・導入にクイズを取り入れることにより、学生がスムーズに授業に入り込んでいた。
- ・パワーポイントの構成がシンプルでわかりやすく、動画も効果的に入れていた。
- ・教員の問いかけに対し、学生がしっかりと反応できる環境になっていた。
- ・小テスト、テキストのページ数をリンクする復習等、授業内容と密接に関連するような教材が準備されていて、とてもわかりやすくなっていた。
- ・学生が保育現場ですぐに使える教材を実際に使いながら授業が進んでいて、とても勉強になった。
- ・教科書と資料で事前学習の内容を確認した上で、現状に即した具体的事例を提示する流れで授業が進んでおり、とてもわかりやすいものになっていた。
- ・グループディスカッションが取り入れられており、討議の質を上げるため、講師から適切な解説がなされ、とてもよく理解できた。
- ・スライドの大きさが適切で、豊富な経験と知識に基づいた解説が行われている授業であった。すべての授業は横断的に繋がりがあるとの言葉が大きなモチベーションとなった。
- ・学生の集中力の切れそうなタイミングで学生が参加できるクイズなどを挟み、授業が単調にならないような工夫がなされていた。
- ・実体験に基づく話を多く取り入れており、興味をもって話を聞いている学生が多かった。
- ・PDCA サイクルを栄養士として進めていくことができるスキルを十分修得。
- ・効果的にPPを使っており、授業準備の大切さが伝わってきた。
- ・学生が自分で考え、表現し、発展的に考えられる材料が提供されていた。
- ・学生へ質問をし、考える間を持たせることで他の人の意見と照らし合せて聞ける余裕があり、結婚というテーマから個人的側面、社会的側面と多面的にみて面白く感じさせる授業の構成になっていた。
- ・難しいテーマを、学生一人ひとりに質問しながら、自分のこととして捉えられるように工夫されていた。
- ・スライドとレジュメの組み合わせで、今何を学習しているか、学生にとってとてもわかりやすい授業となっていた。

3 FD研修会

<FD研修会内容>

平成30年度	<p>・平成30年度第1回FD研修会 テーマ：「授業のユニバーサルデザイン」 平成30年9月6日（木） 9月定例教授会終了後（大会議室） （講師：児童教育学科 准教授 本田 和也） 参加者：46名</p>
	<p>・平成30年度第2回FD研修会 テーマ：「Unipa 導入にあたって」 ～みんなのユニバ～教員向け UNIVERSAL PASSPORT ガイド 平成30年11月1日（木） 11月定例教授会終了後（大会議室） （講師：児童教育学科 教授 村若 修：教務委員長） 参加者：50名</p>
	<p>・平成30年度第3回FD研修会 テーマ：「授業をキャリア教育化する10の提案」 平成31年2月7日（木） 13:30～14:30（大会議室） （講師：大阪大学 講師 家島 明彦氏） 参加者：47名</p>
	<p>・「ユニバーサルパスポート」説明研修会 平成31年2月28日（木） 13:00～14:30（本館402号室） （講師：児童教育学科 教授 村若 修：教務委員長 志学館大学 准教授 大野 隆士氏） 参加者：54名</p>

◆平成30年9月6日（木）「2018年度第1回FD研修会」



授業の
ユニバーサルデザイン

平成30年9月6日（木）FD研修会

本田 和也



◆2018年度第1回FD研修会揭示(内容)

教職員各位

平成30年9月6日

FD委員長 池田

平成30年度 第1回FD研修会

【内容】

1. 開会の辞 (FD委員長)
2. 学長挨拶
3. FD研修会 担当 本田准教授
研修題 「授業のユニバーサルデザイン」
4. 閉会の辞 (局次長)
5. 事務連絡

実施日 平成30年9月6日 教授会終了後
場 所 本館 大会議室

◆2018年度第1回FD研修会(資料)

The collage includes several educational diagrams and slides:

- ADHDの生徒**: A Venn diagram showing the overlap of '不注意' (inattention) and '多動性' (hyperactivity).
- LDの生徒**: A diagram showing '読字が苦手' (difficulty with reading) and '算数が苦手' (difficulty with math).
- ユニバーサルデザインの話し方**: A list of guidelines for communication, such as '十分に聞こえる声' (voice loud enough to hear) and '話す速さに気を付く' (pay attention to speaking speed).
- ④気になる学生の視点に立つての授業の見直し**: A section discussing adjustments for students with ADHD, LD, and autism, emphasizing '低分化' (low differentiation), '視覚化' (visualization), and '共有化' (sharing).
- 板書の工夫**: A slide showing a chalkboard with colorful diagrams and text, illustrating effective board design.

◆2018年度第1回FD研修会アンケート用紙

2018/9/6

平成30年度第1回FD研修会アンケート

①本日の研修会について、ご感想・ご意見等ありましたらお書きください。

平成30年度第1回FD研修会

【アンケート結果】(提出者:14名)

- ・関心のある内容でしたが、これまでなかなか学ぶ機会がなかったので、とても良い勉強になりました。自分の授業で何ができるかを考えたいと思います。
- ・LD, ADHD等について、体系的に理解することができ、とても有意義でした。
- ・入試においても、検討が必要な事項が多々あると思いますので、今後の改善に役立てたいと思います。
- ・ユニバーサルデザインと合理的配慮の違いが、はっきりとイメージできました。自分の授業で何がどこまでできるか、考えていきたいです。
- ・ユニバーサルデザインの授業について、枠組みと実際との両方がとても分かりやすかった。自分の授業でも、なかなかついていけない学生もいる。後で見れば分かるようにプリントを分かりやすく作る努力をしている。それでも、学生から「進め方が早い」という感想が上がってくるので、「ついていけない時は、資料を見れば分かる」と繰り返し伝えていきたいと思った。
- ・周囲の対応によって二次的な問題が起こるというのが、ビデオと説明でよく分かった。
- ・配慮の在り方で、「基礎的環境整備」+「合理的配慮」を100人一斉指導で実現するのは、実際には難しいと思う。
- ・なるべく多くの学生に興味をもってもらえるような講義をしようと考えてはいるが、本日の研修を受けて、今後さらに注意深く講義の内容について考えたいと思った。
- ・学生の多様化に対応する指導やかかわり方など、周囲の理解は不可欠であり、重要であることなど、大変ためになりました。
- ・LDの特徴のある学生が数名おります。資格取得を目指す学習の際、どのような合理的配慮が考えられるのかを検討しようと思います、また、ユニバーサルデザインの話し方については、すぐ実施しようと思います。
- ・多様な学生がいることについて、具体的な数値を用いて説明いただき、現状が良く理解できました。また、それぞれの学生に対する対応について、具体的な事例も示していただきヒントになりました。ただ、現実的な時間の中で全体を解決するのは難しいと感じました。
- ・学科にもLDと思われるような学生が見受けられるので、非常に参考になりました。これまで板書に関しては何の工夫も行っていなかったが、今後は改善できるように努力したいです。



◆2018年度第2回FD研修会次第

平成30年11月1日

教職員各位

FD委員長 池田

平成30年度 第2回FD研修会

【内容】

1. 開会の辞 (有馬教授)
2. 学長挨拶
3. FD研修会 担当 村若教授
研修題 「Unipa 導入にあたって」
4. 閉会の辞 (局長)
5. 事務連絡
・授業公開週間について

実施日 平成30年11月1日 教授会終了後
場所 本館 大会議室

◆2018年度第2回FD研修会アンケート用紙

2018/11/1

平成30年度第2回FD研修会アンケート

- ① 本日の研修会について、ご感想・ご意見等ありましたらお書きください。

◆2018年度第2回FD研修会報告

平成30年度 第2回 FD研修会

2019年度4月から本学に導入されるユニバーサル・パスポートについて、教員がそれを教育や学生指導の面でどのように使えるか、その概略をPPと実演を通じて説明した。寄せられた感想・意見は8件であった。総体として、研修内容についてはわかりやすかったという評価であった。ユニバ導入後への期待と要望もいくつか含まれており、UNIPA 部会等での具体的な検討が望まれる。

【アンケート結果】

- ・他学で同様のシステムを使ったことがあるので、理解はしやすかった。導入後は、かなりの雑務が減りそうな印象をもった。
- ・ユニバの利便性がよくわかりました。先生ご自身が手さぐりだったでしょうに、わかりやすいご説明をありがとうございました。
- ・「ユニバ」について、大変わかりやすく丁寧に指導頂き、ありがとうございました。便利で有効なツールだと思いますので、きちんと活用できるよう努力いたします。今後ともご指導よろしくお願い致します。
- ・本日はわかりやすい説明ありがとうございました。まだ使用していないので、実際の感覚がわかりませんが、学外からも見る事ができ、とても便利なのがわかりました。サイボウズがとても不便(*)なので良かったです。(※研究系のことなど、締切が間近のアップは学外から見ることができず……。個人情報以外は@jkajyo メールを活用して頂ければ…)。
- ・大学・短大では多くの事務作業があるが、Gakuen、UniPaを上手く利用すれば効率向上が図れる事がわかった。諸々、手続き、手順が変更になると、とまどいもあると思うが、なんとか対応できればと思う。
- ・研修会が教授会終了後に開催されたので、ユニバの機能等を確実に聴くことができ良かったです(これまでFD研修会に学内の他の行事で参加できないことがあったので)。様々、便利な機能があるので楽しみです。使いこなすことによって仕事量が減ったり、楽ができるようになることを期待しています。すぐにではなくても、いずれ、出席システムも組み込んで頂きたいです。
- ・大学の方で使用していることもあり、説明もわかりやすかったと思いますし、実際に使いやすいと思うので、是非みなで活用していきましょう。
- ・ユニバの概要がわかりました。志学館大での非常勤で使っているのですが、シラバスと成績入力時のみでしたので、全体の概要がわかりました。現行のデータをどの様に移行させるのか、就職や地域連携部門のデータ管理など今後でご検討下さい。

◆平成 31 年 2 月 7 日（木）「2018 年度第 3 回 F D 研修会」



◆2018 年度第 3 回 F D 研修会次第

平成 30 年度 第 3 回 F D 研修会

1. 日時 平成31年2月7日(木) 13:30~
2. 場所 本館 大会議室
3. 内容
 - 1) 開会の辞 (FD 委員長)
 - 2) 学長挨拶
 - 3) 研修会
大阪大学
講師 家島明彦先生
 - 4) 閉会の辞 (局長)
 - 5) 事務連絡

◆2018 年度第 3 回 F D 研修会アンケート用紙

2019/2/7

平成 3 0 年度第 3 回 F D 研修会アンケート

① 本日の研修会について、ご感想・ご意見等ありましたらお書きください。

◆2018年度第3回FD研修会報告

平成30年度 第3回 FD研修会

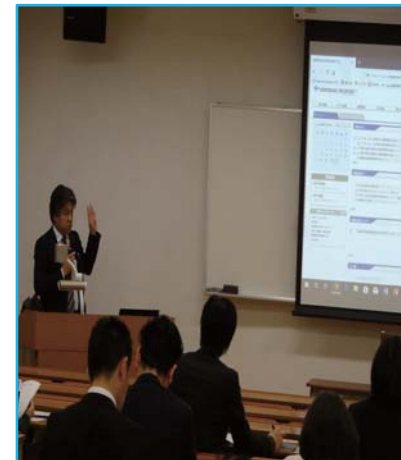
ここ数年、学内教員を担当講師としたFD研修をすすめてきたが、FDの専門家による視点を本学FD活動に取込むべきであるとの視点から、今回は、大阪大学 教育学習支援部の家島明彦講師をお招きし、「授業をキャリア教育化する10の提案」というタイトルで研修会を実施した。なお今次研修会は、教職協働関係の外部会議において、小職（FD委員長）が家島氏と知遇をえたことにより、実現の運びとなった。研修会実施に向けた打ち合わせや事前連絡に若干の手間を要したが、時代の要請に合う授業展開を促すFD研修会になったと思料する。

【アンケート結果】(抜粋)

- ・ 分かり易く面白かった。自分のやっている方向性は間違っていないことが確認できた。しかし、相手によってはすべてを取り入れることが難しいものもあると感じた。
- ・ 大変有意義で理解しやすい講演でした。「キャリア」や「教育」について、基本的なことを学ぶことができました。これまでの講義のあり方から、反省し、できることから改善したいと考えます。
- ・ (授業における) ゲストスピーカーの活用について、自身が他大学に呼ばれたこともあり、予算の問題という壁を考えていたが、グループワークの中で、間接的な方法ということで、テレビ番組などの活用という話がでた。
- ・ シラバス作成において、「何のために」「どう役立つか」を学生主語で記述した方が良いなど参考になった。
- ・ 非常に役立つ内容であった。来年度からの授業内容に反映させていきたい。

◆「ユニバーサルパスポート」説明研修会

平成31年2月28日(木) 13:00 ~ 14:30 本館402号室



* あとがき *

平成 30 年度は、例年に比べ 2 回ほど多い、都合 4 回の FD 研修会をもつこととなった。回数増の理由は、本学に、次年度から「ユニバーサル・パスポート」（以下、ユニバ）という名称の教務ソフトを本格導入する計画があったためである。ユニバは、学生の成績管理や教務情報の学生への伝達といった面で利便性の高いソフトで、また今後の本学ネットワーク体制の整備拡充いかんで、学生の各種データを横断的・横断的に管理する機能をも潜在させているソフトである。ただ、新規ソフトの円滑な運用には、それを使用する側の活用能力の有無が条件となる。第 2 回目・4 回目の研修会では、ソフト導入に関わった本学および姉妹校志學館大学の教員により、ユニバ導入の意義および使用法が解説された。本ソフトを縦横に駆使する能力を各教員が身に付ければ、各学生の学修状況を俯瞰できるようになり、同時に教務処理に要する時間の節減で、教員の教育・研究にかける時間の捻出につながることも期待される。

本年度 FD 研修会の特徴のひとつは、数年ぶりに学外講師を研修会講師として招へいし、FD 上の最新の知見に本学教員が接しえたことである。担当講師は、自身の専門領域それ自体が FD であり、浩瀚な関係知識に裏打ちされた研修は、聴くものをして十二分に得心させる内容をもつものであった。この事実は、研修終了後に回収されたアンケートが物語っている。学外講師を招いての研修は経費上の制約もあり、毎年度は難しい面もあるが、学生の授業を受ける権利を実質化するうえでも、FD 専門家による研修の機会を、本学教員に可能なかぎり保障されるべきであろう。

FD委員長 池田 哲之

「鹿児島女子短期大学 F D 活動報告書」
(2018 年度版)

鹿児島女子短期大学 F D 委員会
(2019 年 6 月発行)